

2022年 6月14日 (火) ~ 6月26日 (日)

Yoshiko Ito Exhibition June 14 (Tue.) - June 26 (Sun.)

織りなす軌跡

伊東良子 遺作展

市立伊丹ミュージアム [展示室5]

10:00 ~ 18:00 (入館は17:30まで) ※最終日は16:00まで

入場料 / 無料

休館日 / 月曜日 (祝日の場合は開館、翌平日休館)

《 1995年の春 》 1995年 絹糸 / 緯緋

# — 織りなす軌跡 —

伊東良子 遺作展

2022年 6月14日(火)～6月26日(日)

- 開館時間 10:00～18:00 (入館は17:30まで)  
※最終日は16:00まで
- 入場料 無料
- 休館日 月曜日 (祝日の場合は開館、翌平日休館)
- 会場 市立伊丹ミュージアム  
展示室5 (B1F)



《青の調べ》1987年 絹糸 / 経絣

《桜映え》1979年 絹糸 / 植物染料 / 経絣

伊東良子が昨年、十二月十二日に膵臓がんで亡くなりました。八ヶ月の闘病生活でした。遺作展が決まり、撮影の為に改めて着物を見てみると、本当にすごい着物作家であったと実感しました。多彩な色使い、自由自在に経絣、緯絣とあやつり、着物という一枚のキャンバスに自分の思いを織り込んでいます。

姉が亡くなり、すぐに私が思ったのは姉の着物を多くの人に見てほしいという事でした。1997年から2021年まで手織講座の講師として務めて参りました姉にとって、もっとも深く関わった伊丹市立工芸センターで、どうしても着物展をさせて頂きたいと思えました。思いが通じ、奇跡のように6月に着物展を開催する事ができました事は、市立伊丹ミュージアムの方々のご尽力の賜物と感謝いたします。そして多くの方に見て頂き、姉を偲んで頂けたら嬉しいです。

「織りなす軌跡」というタイトルは、姉の生徒である倉脇茜さんが考えて下さいました。姉の着物に相応しいタイトルだと思います。この着物展をするにあたり、工房いとおりの皆様方に協力して頂きました事を、心から感謝を申し上げます。有難うございました。

主催者 伊東徹子



《きらら》1984年 絹糸 / 経絣



《月明り》1987年 絹糸 / 経絣

## <パネル作品>



《紫》絹糸 / 緯糸強撚糸



《調べ》絹糸 / 緯糸強撚糸



《珊瑚礁の海》1993年 絹糸 / 緯絣

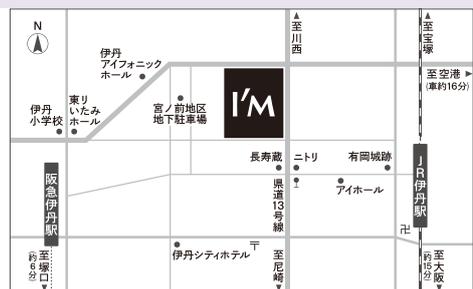


**I'M** 市立伊丹ミュージアム  
Itami City Museum of Art, History and Culture

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前2-5-20

TEL 072-772-5959 / FAX 072-772-5558

<https://itami-im.jp/>



阪急 伊丹線伊丹駅下車 北東へ徒歩約9分

JR 宝塚線伊丹駅下車 北西へ徒歩約6分

※駐車場はございませんので

伊丹市立宮ノ前地区地下駐車場(有料)をご利用ください

主催 / 伊東徹子と有志による実行委員会  
市立伊丹ミュージアム(伊丹ミュージアム運営共同事業体、伊丹市)